

第 2 回 高遠町地域協議会会議録

開 催 日	令和6年9月24日（火）					
開 催 時 間	開 会	午後6時30分		閉 会	午後7時50分	
開 催 場 所	高遠町文化センター2階 視聴覚室					
委員の出欠 出席 15 名 欠席 2 名	番号	委員氏名	出欠	番号	委員氏名	出欠
	1	北原 幹人		11	澤 広行	
	2	西村 則義		12	山崎 恭子	
	3	北原 直		13	伊藤 幸子	
	4	北原 康弘		14	岡部 功治	
	5	藤澤 尚弘	欠	15	伊藤 俊成	
	6	西村 博		16	丸山 宏一	欠
	7	小松 慎		17	井出 順徳	
	8	伊藤 一明				
	9	田畑 友紀子				
	10	松下 のぞみ				
署 名 委 員	3 番	北原 直		4 番	北原 康弘	
委 員 以 外 の 出 席 者 出席 8 名	高遠町総合支所長 福澤 清、同総務課長 田中 智、商工観光部高遠商工観光課長 山下 隆、高遠町総合支所農林建設課建設係長 馬場 浩祥、同総務課長補佐（総務係長）北原 善昭、同総務係主査 柿木 敬子 伊那市議会議員 宮原 英幸、伊藤 のり子					
会 議 事 項	協議事項 （１）伊那市協働のまちづくり交付金事業の選考について 申請団体から事業計画説明及び質疑 選考 （２）委員提案について 高遠町の入笠山観光について 高遠中学校通学路及び校舎周辺の環境整備について 通学路のグリーンベルトの設置（状況）について その他					
会議提出資料	1 高遠町の入笠山観光について 2 高遠中学校通学路及び校舎周辺の環境整備について 3 通学路のグリーンベルトの設置（状況）について 4 伊那市協働のまちづくり交付金事業の選考について					【資料１】 【資料２】 【資料３】 【資料４】

1 開会（午後6時30分） 進行 北原副会長

2 あいさつ 西村会長 福澤支所長

3 欠席委員の報告 西村会長

5番 藤澤尚宏委員、16番 丸山宏一委員

4 会議署名委員の報告 西村会長

3番 北原直委員、4番 北原康弘委員

5 協議事項

（1）委員提案

（ア）高遠町の入笠山観光について 4番 北原康弘委員

コロナの影響でライフスタイルが変化し、自然を親しむ考え方が多く見受けられる様に感じる。

入笠山、鹿嶺牧場といった山々を、高遠の観光面でも、桜一本ではなく1年を通じて楽しめるよう道路整備、環境整備を提案する。

（建設係長）入笠山への道路整備について、現段階は拡幅等のインフラ整備の計画はないが、今後の観光施策の状況に応じ検討する。現在は、県道中山松倉線、国道から国立高遠少年自然の家に上がって途中から千代田湖から入笠山へ続く市道について、市道の定期的な舗装の打換え工事や道路の補修の実施、林道千代田湖枯木線の計画的な舗装の打換え工事（本年度完了予定）を実施している。冬期間については、路線も長く除雪等の安全対策が必要となるが、山間部であり路線延長も長く対応困難なため、通行止めになっている。今後も引き続き道路の維持管理に努める。

（商工観光課長）伊那市、富士見町、旅館組合、J A上伊那を組織した入笠山観光連絡協議会が「景観の保全」、「登山道整備」、「防護柵・案内看板の設置」等に取り組み、観光客が訪れやすく、親しみやすい入笠高原を目指した整備を進めている。また、牧場という機能もあるので、現状の自然環境を保ちながら、引き続き入笠山の自然景観を活かした観光振興に努める。

（委員）牧場の中に鹿がいるが駆除はどうするのか。

（商工観光課長）具体的な有害鳥獣対策ができていない。樹木や皮を食べる被害はあり、防護柵を設置しながら対応していく。

（委員）鹿駆除については、（委員が）高遠町の猟友会に属して駆除している。直径100mの柵を利用した大がかりな落ち穴に鹿が入ると管理人の三澤さんから呼ばれて、年間通して駆除している。月に1～2度要請があって、10頭から20頭入る。肉は富士見町の匠亭やジビエ加工センターに卸している。昔から鹿が多い。困るのは猪でどうにもできない。牧草をひっくり返してしまう。

（委員）マナスル山荘では伊那市から車で来た人には商品を売らないという看板があったのを見た。伊那市と富士見町では観光について意見が分かれていると聞くがどうか。

（商工観光課長）富士見町と連携はしているが、マナスル山荘は富士見町側で、富士見町はマイカー規制があり、車で来た人は自然環境によくないという厳しい目を向けられている。

（会長）昨年からの観光資源の掘り起こしについて小員会で検討してきた。三義をどう盛り上げていくか、入笠観光にどうつなげていくか、市長と観光協会に提案を上げてある。

入笠山は富士見からの地の利が良い。諏訪南インターから30分で行ける。富士見リゾートでゴンドラもある。伊那市から行くとインターを降りても1時間かかり、さらに時間がかかる。伊那市側は力をいれてほしいと要望を事あるごとに上げている。声を上げていくことが大事で提案を上げていきたい。夢のような話だが、鹿嶺牧場のライチョウ荘から御所平峠のスカイライン、飯島町の陣馬形山から鹿嶺牧場までのスカイラインを広域の力を借りてつくれば南信地域が活性化する。

（イ）高遠中学校通学路及び校舎周辺的环境整備について 12番 山崎恭子委員

婦人会は地域の皆様とのつながりを大切にしている。6月6日に高遠中学校入口信号から聖橋をわ

たり校門のところでみた。信号を下っていくと雑木がわさわさしていて、雨風の時は中学生が大変で、聖橋の上に枯れた木が倒れかかっていた。グラウンドの端は柵があるが、倒れそうだった。校長先生とも一緒にみて心配したが、平成 30 年からの提案者に聞いたところ、変わっていないように思えるとのこと。安全を第一に考えてほしい。

(総務課主査) 学校敷地内の立木については、令和元年度に樹木医診断を行い、その後、診断結果に基づき伐採・枝下ろし等の対応を行っている。市の 21 の中学校を回って定期的に樹木医診断を行っている。高遠中は令和 5 年に診たが問題はなかった。引き続き危険木について対応する。

(建設係長) 高遠中学校入口信号から聖橋付近及びその下流一体の藤沢川側旧国道に生えている樹木は民地内にあり、土地所有者の財産となる。市や学校が個人の財産である樹木を切ることはできないが、状況に応じ土地所有者に伐採の協力を依頼する。ご指摘があった正門の枯れている桜については、現地を確認し、枯れた部分の枝を桜守が伐採した。今後とも危険がないようにしていきたい。

(委員) 整備をしてもらっているのはありがたいが、先月東京でも大丈夫といわれた大木が折れて死者がでた。今後ともお願いしたい。枯れているということだけでなく、診てもらいたい。私有地で切れないということだけでなく、危険があれば行政の力が必要。婦人会にこのように報告します。

(会長) 提案を申請し続けてほしい。地権者は遠くにいる人で時々帰ってくるのか。

(建設係長) 民地は県外の人、ここに時々帰ってくるのかわからない。

(会長) 私有地でもなんとか連絡を取り合いながらしていてもらいたい。

(ウ) 通学路のグリーンベルトの設置(状況)について 7番 小松慎委員

グリーンベルトの設置状況を承知していただき、効果を今後とも子供の安心のため回復できないか。平成 30 年に支給してもらったが、現状薄くなっている。観桜期には小学校グラウンドや河川敷が駐車場になっており、そこに携わる保護者ボランティアや子供が生活しているので(グリーンベルトが)目立つことによって安心を保つ。今後ともお願いしたい。

(建設係長) 学校教育課と農林建設課と併せて回答する。高遠小学校周辺のグリーンベルトは、平成 30 年に伊那市が材料を支給し、地元で設置(施工費を負担)した。現地を確認したが、経年劣化により色が薄れ注意喚起の効果が弱まっているため、塗り直す必要があると認識している。予算の範囲内ではあるが材料を支給することは可能なので、地元や P T A の皆さんで設置していただくことができるかご検討いただきたい。先月中旬に伊那市から材料を支給し、下山田地区のグリーンベルトの塗り直しを、地元や P T A の皆さんで実施された。グリーンベルトを新たに設置する場合は、地区要望として(すみよい地域づくりだが)、区から市に要望をあげていただき、現地等を確認の上、検討する。具体的にどこが必要かということを上げてもらいたい。設置については、学校、P T A、警察の協力が必要と思われる。地域の皆様、そして子供たちの安全を確保するため、グリーンベルトに限らず、交通安全施設の整備に取り組んでいく。

(会長) 区から市のどこに要望するのか

(建設係長) 4 月に区長宛に案内をするが、農林建設部門のうち農地、林道等をまとめたときに P T A から区にあげてほしい。

(会長) 安協は関係ないか。

(建設係長) 安協も協議してほしい。

(会長) 委員提案は終了とする。

6 その他

(総合支所長) 課題ということでお話をさせていただきたい。国道 361 号線の鉾持除の落石があった場所付近に松枯れがあり、地面の保持力が低下すると、また落石につながる。被害が広がらないように対策が必要で、対策の一つとして、ドローンによる薬剤空中散布がある。ピンポイントでできるとい

う話をきいているが、費用や効果等は不明。10月に県主催の説明会があり、本庁担当者が出席し、詳細を確認することになっている。その会議の情報や対策等の情報などを提供させていただき、今回は皆さんに投げかけをして、改めて皆さんのご意見をいただく場を設けたい。

7 伊那市協働まちづくり交付金事業の選考について

(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業の選考について

申請団体から事業計画説明及び質疑

(2) 選考 非公開

(3) 結果 高遠第2第3保育園保護者会

事業名「新園舎もくもく大作戦」 採択 552,000 円

8 次回日程について

(会長) 委員提案の用紙があるので出してほしい。期限を設定してもらいたい。

(事務局) 先月の市報で回覧しているが、来年度のふるさと創生交付金希望を9月末しめきりで3団体から相談があったので、皆さんに審査をお願いしたい。11月中旬から12月上旬をお願いしたい。次回の日程はそのあたりでお願いしたい。

(会長) 委員提案の期限を10月31日とし、出てきた時点でふるさと創生交付金の審査と併せて日程を決める。11月中旬から12月上旬に会議を設定する予定。

9 閉会 (7時50分) 北原副会長